



# 滋賀・上山神社遺跡 うえやまじんじゃ

- 1 所在地 滋賀県神崎郡能登川町大字山路
  - 2 調査期間 一九九五年（平7）四月～一九九六年三月
  - 3 発掘機関 能登川町教育委員会
  - 4 調査担当者 杉浦隆支
  - 5 遺跡の種類 集落跡
  - 6 遺跡の年代 平安時代
  - 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要
- 上山神社遺跡の調査は能登川町総合文化情報センター（図書館・博物館・埋蔵文化財センター）の建設工事に先立つものである。



（彦根西部）

確認された遺構は、主に平安時代末期のもので、屋敷地を取り囲む濠跡が検出され、その西約一五〇mの地点から、一二世紀後半の土坑が検出され、呪符木簡二点のほか、黒色土器、土師皿、刀形木製品などが出土した。

8 木簡の釈文・内容

- (1) ・〈(符録)急□□左方□□〉  
 ・〈〉□ □ □ □ □  
 230×25×3 032
- (2) 〔(符録)急×  
 (217)×41×6 019

(1)は表裏両面に墨書が認められる。表面の上半部には呪いの文字があり、その下に「急」と見える。下半部には「左方」と読みとれる。裏面にも文字が確認できる。(2)は片面のみに墨書が認められ、上半部に呪いの文字があり、その下に「急」と見える。二点とも「急々如律令」と書かれていたものと思われる。

木簡の釈読については、奈良大学の水野正好氏、(財)元興寺文化財研究所の藤澤典彦氏のご教示を得た。

9 関係文献

能登川町教育委員会「上山神社遺跡」(能登川町埋蔵文化財調査報告書「四二一九九七年」)

(杉浦隆支)

